

武豊町議会議長 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 森田 義弘

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和2年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答弁者
<p>1. 4期目の総括及び次期町長選挙に向けて</p>	<p>【趣旨説明】 靱山町長は、「住んでみたい 住んでよかった 武豊町」をスローガンに、「安全で安心できるまち」「住民と行政との協働のまち」「暮らしやすいまち」「教育環境の充実と子育てがしやすいまち」「都市基盤の整備と活力あるまち」「楽しい生活のできるまち」の6つの項目と、18の施策をマニフェストに掲げ、平成29年4月から第4期目となる町政運営を進められ、早いものでその任期も残すところあと半年余りとなっております。 町長は、平成29年5月の臨時議会での施政方針演説において、「さらなる厳しい財政状況が予想される中にありますが、武豊町のあるべき姿をあらゆる観点から模索し、町の将来像、構想図を描き、足元を固めて具現化していくことが私の使命だと意を新たにするとところであります」と述べられております。 地方交付税の交付団体として厳しい財政状況でスタートした4期目ではありました。 こうした中、選択と集中の政治方針のもと、知多南部広域環境センター、屋内温水プール、武豊中央公園、そして、小中学校のエアコンの導入事業など大きなプロジェクトを計画、実行をされてこられたことなど、高く評価しております。 令和4年度に供用開始の事業やまた、継続事業も山積をしており、しっかりと完結する姿を確認、検証することも政治家としての使命であると思っております。 そこで現在の任期が、残すところ半年となりました現時点での、4期目の総括及び次期町長選挙に向けての靱山町長の意向について、以下質問します。</p>	<p>町長</p>
	<p>【質問事項】 ①平成29年4月からの3年半における4期目の町政運営に対する自己評価及び今後の課題は。 ②来年4月の次期町長選挙に向けての意向は。</p>	